

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">中国語Ⅱ</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>教育教福2回生 人間社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">嘉瀬 達男</p>
<p>授業テーマ</p> <p>中国語会話能力の向上</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>中国語Ⅰで学習した内容をふまえ、自在に中国語で話せるようになることを目標とする。語彙の充実と発話練習を重視し、言い換え練習、朗読、会話練習を繰り返し行なう。教科書は留学生用のものであり、簡単な練習問題に即答することで会話力が養成できる。ただし、ピンインの付いていない部分も多いので、単語帳などを利用して着実に語彙を増やす必要がある。時には教科書以外の教材も使い、本科目修了後、実際に中国語を使える場を見出せるようにする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業での発音や応答の回数により平常点（50％）を評価する。小テストを行なって平常点に加味する場合もある。各期末には筆記試験を行なう（50％）。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『新訳 第3版 中国語会話301（上）』</p>	<p>著者</p> <p>康玉華・来思平 (張美霞ほか訳)</p>	<p>出版社</p> <p>AGP アジア語文出版</p>
<p>参考書</p> <p>『プログレッシブ中国語辞典』、『ポケットプログレッシブ 中日・日中辞典』、『プログレッシブ中国語辞典 コンパクト版』など</p>	<p>著者</p> <p>武信彰ほか</p>	<p>出版社</p> <p>小学館</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>《前期》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 復習 1～5課</li> <li>2 復習 1～5課、復習1</li> <li>3 6課（名詞述語文）</li> <li>4 6・7課（介詞）</li> <li>5 7課</li> <li>6 8課（時間詞）</li> <li>7 8・9課（連動文）</li> <li>8 9課</li> <li>9 10課（方位詞）</li> <li>10 10課、復習2、</li> <li>11 復習2、11課（「了」1）</li> <li>12 11課</li> <li>13 12課（主述述語文、能願動詞）</li> <li>14 12・13課（二重目的語文）</li> <li>15 前期試験</li> </ol> <p>《後期》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>16 13課</li> <li>17 14課（兼語文、「了」2）</li> <li>18 14・15課（結果補語）</li> <li>19 15課</li> <li>20 復習3</li> <li>21 16課（動態助詞）</li> <li>22 16・17課（方向補語）</li> <li>23 17課</li> <li>24 18課（「要～了」、「是～的」）</li> <li>25 18・19課（動量補語）</li> <li>26 19課</li> <li>27 20課（程度補語）</li> <li>28 20課</li> <li>29 復習4</li> <li>30 後期試験</li> </ol>		